

(西之表市安城字鬼ヶ野)

位置と環境

本遺跡は、西之表市の東南部、安城上之町の県道75号線西側の台地上に位置する。

調査の経緯

県営畑地帯総合整備事業に伴い、事業着手前に埋蔵文化財緊急発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を行い、埋蔵文化財と開発の調整を図るため、西之表市教育委員会が調査主体となり、県教育委員会の協力を得て平成13年に発掘調査を実施した。

遺構と遺物

調査の結果、縄文時代草創期の遺構、遺物が多数出土した。

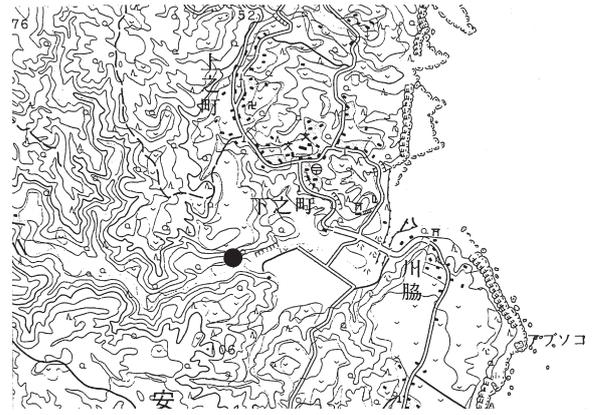
遺構では、竪穴住居跡が1軒検出された。この時期の住居跡は発見事例が少なく、貴重な資料といえることができる。また、石器製作所だったのではないかとされる竪穴状遺構が4基検出された。ほかに配石5基、集石2基、土坑6基などが検出された。

出土遺物のうち、土器は、隆帯文土器が大量に出土し、土器の文様もバリエーションに富んでいる。

石器は、石斧・石鏃の出土量の多さが特筆される。石斧は約50点、丸ノミ形石斧が約15点出土し、石鏃は318点出土した。丸ノミ形石斧も石鏃も、国内最多の出土量と思われる。



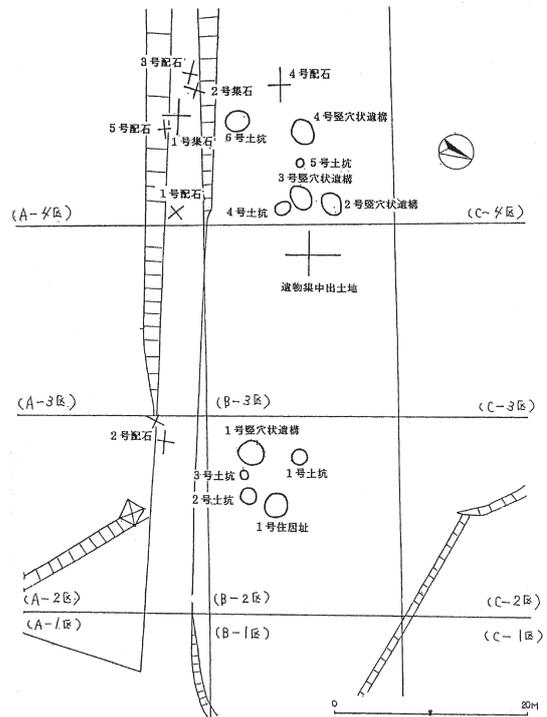
第2図 発掘調査地(グリッド設置図)



第1図 鬼ヶ野遺跡の位置

特徴

本遺跡において特筆すべきことは、県内でも数例しか報告されていない縄文時代草創期の住居跡が発見され、石斧・石鏃が大量に出土したことである。



第3図 遺構配置図

南九州の縄文時代草創期文化を探る大きな手がかりとなった。

資料の所在

出土遺物は、種子島開発総合センターに保管されている。

参考文献

西之表市教育委員会2002「鬼ヶ野遺跡」『西之表市埋蔵文化財発掘調査報告書』14

(沖田純一郎)



写真1 発掘調査作業状況



写真4 2号竪穴状遺構



写真2 遺物出土状況



写真5 1号配石検出状況



写真3 1号住居跡検出状況

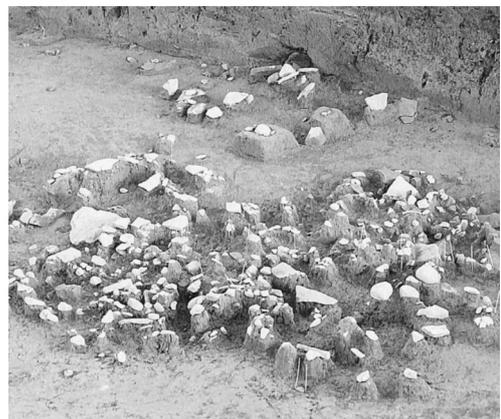


写真6 2号集石検出状況



写真7 隆帯文土器出土状況



写真10 隆帯文土器出土状況

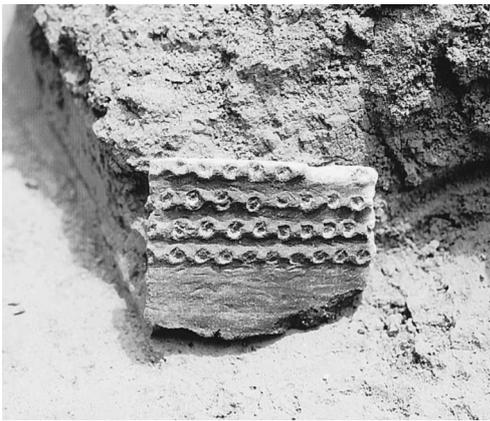


写真8 隆帯文土器出土状況

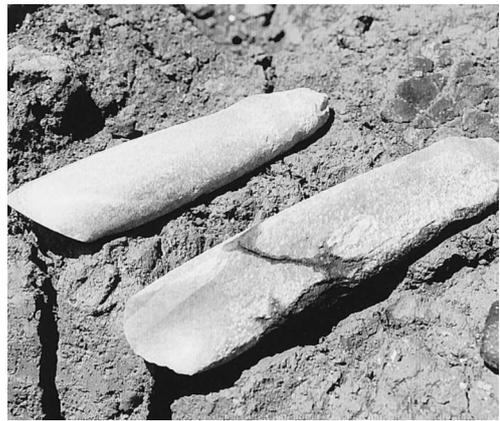


写真11 石斧出土状況

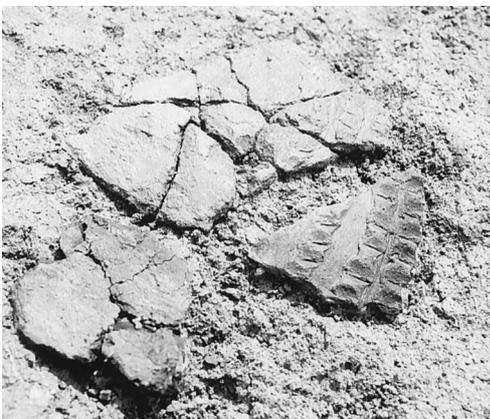


写真9 隆帯文土器出土状況



写真12 石斧出土状況

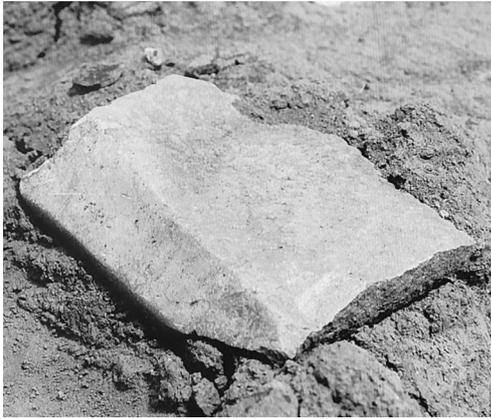


写真13 砥石出土状況



写真14 尖頭器出土状況



写真15 石鏃出土状況

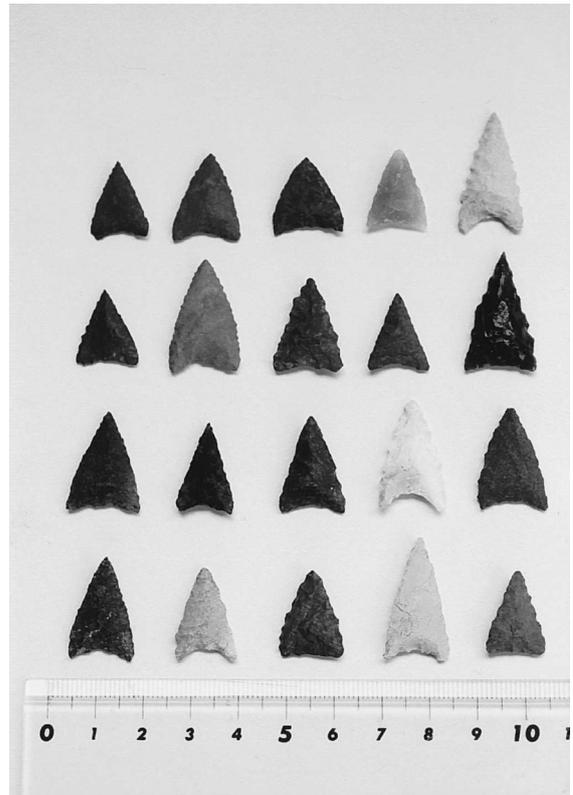


写真16 出土した石鏃の一部

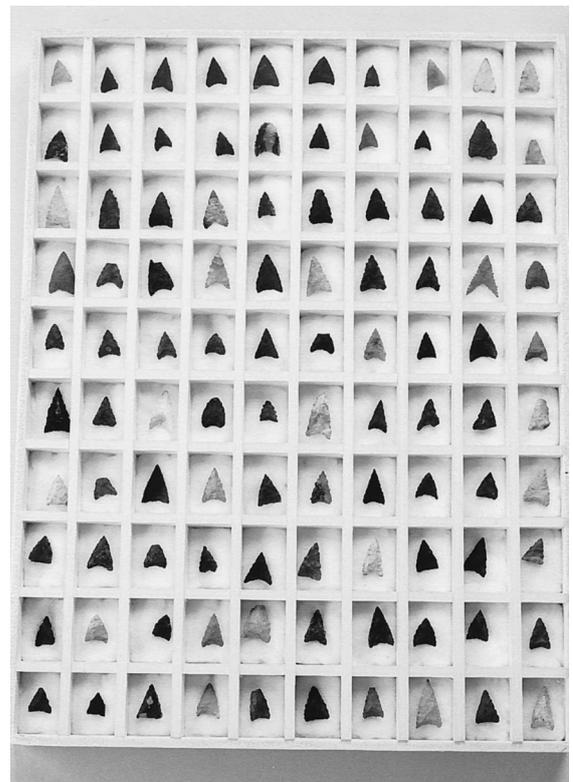


写真17 出土した石鏃の一部